

◆平成29年2月14日(火) 本校応接室にて第2回学校評議員会が開催され、併せて学校関係者アンケートによる評価結果および自己評価結果に基づいて、意見をいただきました。主な意見は次の通りです。

◆主な意見

- ◇授業を中心とした活動に加えての様々な取り組みは高く評価できる。
- ◇わかりやすく目に見える短いスパンで成果が出ることはばかりでなく、自分で考えたり友人とディスカッションしたり、学校を離れたときにも「深く考える」ことが必要。3年間で目に見えた結果が出なくても一人で思索するゆったりした時間と空間の確保をお願いしたい。
- ◇間違えてもOK、何を言っても批判・評価されない安心感のある雰囲気作りを今後も持続してほしい。
- ◇先生方の裏方の努力に感謝、生徒たちが楽しく過ごせるよう演出してくれていたことを改めて実感した。
- ◇時代によって「いい子」の概念が変わってくる。“まじめですなお”な子はある一定の成果は期待できる反面、一方で物足りなく、“チャレンジ精神に欠ける”ため、それ以上が期待できない。仕事でも同じで、“積極性・チャレンジ精神”があり、時として自己主張ができる子が成果を上げることがある。
- ◇本校生に物足りないと思われる“積極性・チャレンジ精神”が身につけらような機会・教育をお願いしたい。
- ◇校訓「励み 結び 拓く」にプラスしてスパイスが必要では？北高といえば「国際理解・英語教育＋○○」というものを考えてほしい。
- ◇学校評価について高い評価が維持されている。このままキープしてほしい。情報発信について、ホームページの更新の頻度が問題ではなく、必要なこと・学校の考え方を発信していけば保護者も理解し受け止めてくれる。AI型授業で、「グループで話し合い発表」という形ばかりにならないようメリハリつけてほしい。「思考の時間」はやはり大切。
- ◇アンケート方法などわかるように明記すると更により。子供たち一人一人「目標設定・シナリオ構築」の方法が違うので、個別に対応していただければ更に子供たちはよくなる。
- ◇学校の雰囲気がよく、親しみやすかった。特に3年生の評価が高く、親身に対応してくれたことがうかがえる。
- ◇いじめ(いじられる場合も含めて)があったときの適切な対応が大切。今後も力を入れていただきたい。